

ナル n a r u

鳴門教育大学大学院生、教員からのメッセージ。

Vol.2

時代をひらく。



各種お問い合わせ先

- 入学試験・募集要項の請求について(入試課)
TEL.088-687-6131
- 大学院説明会等について(入試課)
TEL.088-687-6135
- 授業・カリキュラム等について(教務課)
TEL.088-687-6097
- 免許・資格について(教務課)
TEL.088-687-6095
- 教育実習について(教務課)
TEL.088-687-6598
- 学生生活・課外活動について(学生課)
TEL.088-687-6117
- 奨学金・授業料免除について(学生課)
TEL.088-687-6119
- 学生宿舎について(学生課)
TEL.088-687-6120
- 教員採用・就職支援等について(学生課)
TEL.088-687-6112
- 授業料等の納付について(財務課)
TEL.088-687-6060
- 専門職学位課程【教職大学院】について(教務課)
TEL.088-687-6678



大学院
入試情報



「0」からでも
教員免許が取れる大学院



受験生応援
メッセージ

教育の一番札所



国立大学法人

鳴門教育大学

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地
TEL.088-687-6131

URL <https://www.naruto-u.ac.jp/>

E-mail nyushidaigakuin@naruto-u.ac.jp

2020年1月発行 鳴門教育大学教務部入試課



現代社会は、
めまぐるしく変化し続けています。

こうした現代の学校を取り巻くさまざまな教育課題の解決・改善のため、日々専門家として活躍されている、本学の先生方やそれぞれの夢に向かって本学大学院に進学してきた大学院生の生の声を収録いたしました。

誌面の都合上、すべての方々からのメッセージを掲載することはできませんでしたが、この小冊子が鳴門教育大学大学院の魅力の紹介とナルことを願っています。



mokuji

■ 教員 ■ 大学院生

■ Voice 1 心理臨床コース 濱野恵美 1
わたしの自分へのごほうび 2
■ Voice 2 心理臨床コース 内田香奈子 3
■ Voice 3 心理臨床コース 梁 睿哲 4
■ Voice 4 グローバル教育コース 田岡希望 5
鳴教メシ(鳴教大に昼がきた! のぞいてみよう みんなのランチ♪) 6
■ Voice 5 言語・社会系教科実践高度化コース 田波 樹 7
■ Voice 6 言語・社会系教科実践高度化コース 薮下克彦 8
■ Voice 7 言語・社会系教科実践高度化コース 光山明典 9
先輩の1日 光山明典、北見優人、羽坂 楓 10
■ Voice 8 自然・生活系教科実践高度化コース 林 佳子 13
■ Voice 9 生活・健康系コース(家庭) 福井ともこ 14
■ Voice 10 芸術・体育系教科実践高度化コース 山田啓明 15
■ Voice 11 芸術・体育系教科実践高度化コース 山木朝彦 16
■ Voice 12 生活・健康系コース(保健体育) 中川沙弥 17
■ Voice 13 子ども発達支援コース 榎林衿子 18
座談会(教職系院生×教員) 19
弘田美和、名目良律子、大石章裕×小坂浩嗣	
■ Voice 14 学習指導力開発コース 金児正史 23
■ Voice 15 教員養成特別コース 山下晶子 24

収録 2019年11月現在

「ナル」について

「ナル」は、成せばなるのナル、何者にでもなるのナル、なるほどのナル等々…
鳴門教育大学のナルにかけて名付けました。

「ナル」はこの小冊子を読んでくださる皆様方の心の中にあります。入試課



勇気を出して 一歩踏み出してよかった



心理臨床コース
臨床心理学領域

Voice 1 濱野恵美

私は少し前まで看護師をしていました。病院勤務の他、訪問看護、青年海外協力隊などいろいろな場面での看護をしてきました。

私が大学院に進学した理由はたくさんありますが、中でも臨床の現場や生活の中で感じたことを理解し、どうあるべきかを考え、今後の仕事や生活に生かしたいと思ったからです。例えば救急の現場やターミナルケアで感じたこと、医療スタッフなど人間関係にまつわることです。また、子育てをしている中で感じたこと、自分や配偶者、自分と親の関係のことをあれこれと考えることが増えたこともあります。

今、大学院では臨床心理学の授業と実習、ゼミではカウンセリングを学んでいます。後期に入り、

実践的な勉強が始まり、自分と向き合うことがこんなに大変なのかと思うこともたびたびです。

研究の大筋のテーマは愛着と感情で、親が子どもに抱く負の感情の取り扱い方についてです。

社会に出てから再び学ぼうとしても、初めの一歩は勇気がいることだと思えます。私もそうでした。しかし、学ぶことは時に大変なこともあります。が、やっぱり来てよかった。また、大学院のコースの仲間は、年齢は違っても目指すものは同じです。いろいろなことをじっくりと話し合える雰囲気がとても良いです。



鳴門のスーパー低山、棒杭山です。山頂からヤッホー!!最高です。大学も見えます。

はまの えみ

- 研究テーマ／愛着について
- 趣味／生け花、登山
- 座右の銘／平和は笑顔から始まる



海外旅行 院生MHさん

気分転換に海外へ。写真はテニアン島で一番人気のカフェの日替わりランチです。アボド、チキンウィング、ごはん、お味噌汁。

暑さには甘い紅茶がよく合います。アボドはフィリピンの煮込み料理です。

テレビ鑑賞 院生FTさん

一週間のうち一日、日を決めて家で撮りだめているドラマや映画を見ながら、一人呑みをする事です。少し酔いながらテレビを見るのは最高です。

ラーメンごんまい 院生AMさん

『北島町の某ラーメン屋さん』でこってり中華そばを食べる事です。麺をすする間の、あの短い時間が至福のひとつです。

わたしの 自分への ごほうび

整体 院生EHさん

なかなか一人の時間が見つけれないのですが、月一くらいで、からだのメンテナンスとして通っています。

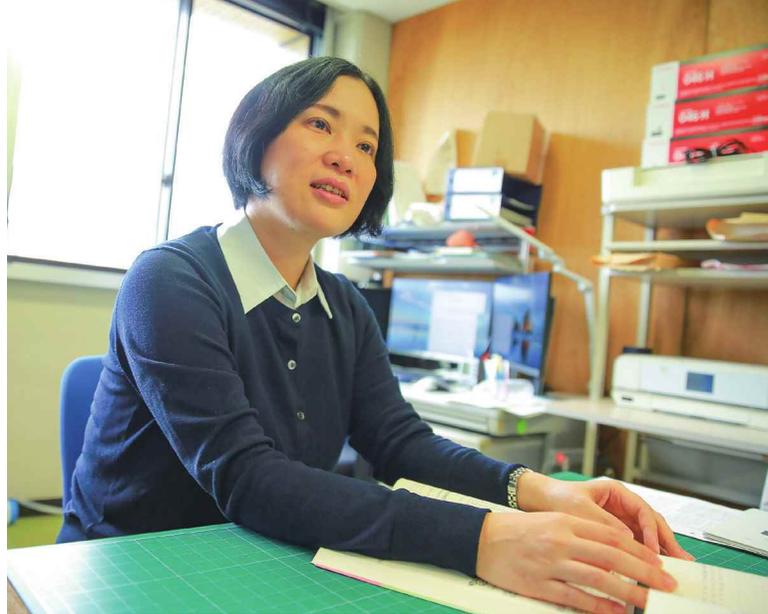
ペット 職員MHさん

ペットの癒やしも自分へのご褒美です。特に、懐いているペット(デグー)にメロメロです。

ドライブ 教員KYさん

一週間のハードワーク(?)のご褒美として週末に大鳴門橋と明石海峡大橋の2つの美しい橋を渡るドライブ(帰宅)をしています。運転が上手な訳ではないのですが好きなので、私にとっては実用的なレジャーになっています。

「心の予防教育」
— 研究と実践の調和から —



心理臨床コース
心理・教育科学領域

Voice 2 内田香奈子

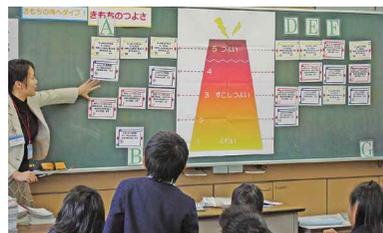
Q: 心理・教育科学領域の特色はなんですか?
A: いじめなどの問題を未然に防ぐ予防教育を推進するために、心理学の基礎研究や教育プログラムの開発に取り組んでいます。教師を目指す人、現職教員、留学生など、様々な立場の人がいます。また、予防教育科学センターを利用した演習授業も多く、最新の研究動向に加え、大学にいなから現場の様子も良く分かります。
Q: 先生の研究室はどんな様子ですか?
A: 「学ぶときは学び、遊ぶときは遊ぶ」がモットーです。ゼミでは立場や年齢関係なく、活発に意見が飛びかっています。修論の成果を学会で発表する人もいます。一方で、B・B・Q大会や懇親会をはじめ、ピザパーティーやお菓子を争奪する

るジャンケン大会なども催されています。教員も毎回必死です(笑)。
Q: 心の教育の発展には、何が必要ですか?
A: 研究と実践、両方の視点を持つことかと思えます。私も昔は研究一筋でしたが、本学へ着任後、小・中・高等学校すべての教壇に立ち、予防教育の授業をしてきました。現場の経験が研究に活かされ、さらに教育が発展することを肌で感じています。これまで県内外、多数の学校で実施されてきた予防教育は、最近も新たな県での実施が決まりました。今後子どもたちの笑顔のために、学生さんたちと一緒に頑張ります。



うちだ かなこ

- 研究テーマ / ストレスへの対処方法、いじめなど学校での問題を未然に防ぐ予防教育プログラムの開発と実践
- 趣味 / 旅行、音楽鑑賞(論文執筆の際も欠かせません)



異国で学び、
自分の成長を感じ、
夢を叶えよう!



心理臨床コース
障害科学領域

Voice 3 梁 睿哲

私は現在、中日両国の特別支援教育について研究しています。具体的には両国の「インクルーシブ教育」について研究しています。なぜこの課題を選んだのか。それは、私自身が障がいがあることに加え、外国人であり、もし両国の特別支援教育の状況を比較すると、新たな知見を得られるかもしれないと考えたからです。そして、両国がお互いに障がいがある方のためにより良い社会を創る。これが私の願いです。
私は外国で一人暮らしをすることがはじめてで、最初は自分ができるかどうか迷っていましたが、大学のみなさんがやさしくて、私は予想以上に早く外国での生活に慣れました。そして、自分が尊敬している先生たちとの出会いを、私は一生忘れないと思います。

毎日の生活は、楽しく充実しています。授業が終わった後、大学の図書館で本を読んだり、研究を行っています。私はここで、人生ではじめて日本語の小説を読みました。ちなみに、母国の大学での専門は日本語でしたが、日本語の小説を読む勇気が実はありませんでした。しかし、この図書館で一步を踏み出しました。それに、たくさん本を読むことは研究上重要です。これが「成長」というものですね。
人生は長い。まだまだ、いろいろなことを知る必要がある。人が止まらないかぎり、道は続きます。鳴教大で学び、自分の成長を感じ、夢を叶えよう!



リョウ エイテツ

- 研究テーマ / 中国の「随班就読」と日本のインクルーシブ教育の比較研究
- 趣味 / 読書、音楽、アニメ



言葉や文化

人との一期一会を大切にしている



Voice 4 田岡希望

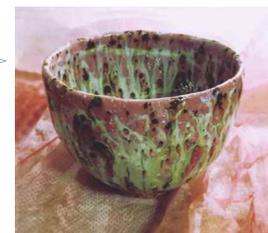
グローバル教育コース
日本語教育・日本文化分野

私は現在、日本語教育における板書の機能や役割に関する研究をしています。特に、海外での日本語教育に着目し、キルギス共和国を研究対象としています。

私の所属するグローバル教育コースは、留学生が多く、彼ら彼女らの背景もさまざまです。母国で教師をしており、日本の教育について学びにきている学生や、母国で日本語教師になるために、日本語教育を学びにきている学生がいます。国や地域が違うからこそ、それぞれの「教えること」に対する姿勢や考え方を知り、また違う視点で自分の考えに向き合うことができるので、自分の視野が広がります。

語教師をすることを考えています。どこの分野でも共通することだと思えますが、特に日本語教育では、「つながり」というものが大切だと、私は思います。人と人とのつながりはもちろん、日本語教育においては、言葉や文化など、国と国とのつながりというのも大切になってきます。このつながり、関係というものを、学生生活の中でも、さまざまな人との交流や出会いを大切にしていきたいと思っています。

一緒に茶道をしていた先輩から頂いた手づくりのお茶碗です。今でも大切に使っています。



たおか のぞみ

- 研究テーマ/日本語教育における板書の機能について -キルギス共和国での授業実践をもとに-
- 趣味/茶道、スポーツ観戦
- 座右の銘/思い立ったが吉日



鳴教大に昼がきた! のぞいてみよう みんなのランチ♪

鳴教メシ



鯖味噌、白菜のごま和え
これから心理支援の実習に行くので学食でしっかり食べます。
院生EHさん ¥450



カジキマグロのステーキカツ、ご飯と味噌汁
お昼ご飯はいつも学食で食べています。健康のため麺類やカレーは避けできるだけ魚を食べるようにしています。
教員HYさん ¥400



学食でお手軽小鉢セット
小鉢のメニューがリーズナブルで栄養満点なので魅力的です!
院生AMさん ¥310



パリッジュー!! 唐揚げ
朝から勉強した後、学食の唐揚げ定食でエネルギーを補充します。
院生LRさん ¥430



『昼の定食』の一例【写真は、鯛(かます)】
大学の近くの店で一週間に3回は昼食を取っています。その日仕入れた魚の焼き物や煮付け、または人気のフライを主菜にした定食がリーズナブルな値段で食べることができ、おすすめです。
教員KYさん ¥610



学食の本日のB定食(照り焼きハンバーグ)
食堂では時々イベントがあって今日は先着100名にミニケーキのプレゼントがありました♡
職員BKさん ¥430

(注)学食=鳴教食堂「渦の里」



授業力や

教材分析力を上げるなら、
ここしかない！



言語・社会系教科実践高度化コース
国語科教育実践分野

Voice 5 田波 樹

私は元々小学校教員を目指していました。一方で、国語の先生になりたいという思いもあり悩む日々が続いていました。しかし教育実習を経て次第に「中学校の教員になりたい。」という思いが強くなり、教員採用試験も中学校国語科で受験しました。合格を勝ち取ることができ喜んだ反面、中学校国語科の授業をどのように行えばいいのかといったことや、教材分析力の足らなさに大きな不安を抱えていました。

そんな中、鳴門教育大学院のパンフレットを目にし、「自分の不安を払拭させてくれる場所はここしかない！」と強く思うようになりました。気づけば願書を書いていました。

本学の特徴は、各コー



たなみ たつき

- 趣味／料理(和食作り)
 - 座右の銘／為せば成る 為さねば成らぬ 何事ぞ
- ☆みなさん一緒に
教育の一番礼所で学びましょう！



教職大学院

(教科実践高度化系)での
専門学問の可能性



言語・社会系教科実践高度化コース
英語科教育実践分野

Voice 6 藪下克彦

本学の教職大学院(教科実践高度化系)を受験しようと思っておられる方の中には、本大学院では、教科教育学だけでは学ぶことができないかと思う方がいらっしゃるのではないのでしょうか。本大学院では、教科教育学が専門ではなく、私の場合の言語学などのように、いわゆる専門学問を専攻している教員がスタッフの多くを構成しています。

教職大学院(教科実践高度化系)の学生として学校教育における教科内容(以下、「教科内容」と全く無関係な専門学問内容研究に専念する)というわけにはいきませんが、教科内容と専門学問の接点を研究することは出来ます。教科内容は、元々なんらかの学問から端を発しているもので、日々進歩している

学問の知見によってアップデートされるべきものだからです。具体的には、各教科でスタンダードになっている教科内容や教え方の中には、専門学問からみると疑問の余地のあるものがあります。このようなときに専門学問から教科教育に改善内容を提案すること、または、協同でより良い教材を開発することが出来る可能性があります。

教授法だけでなく教科内容に専門学問の知見を活用することに興味をもっている方にも、本教職大学院(教科実践高度化系)に入学していただきたいと思っています。



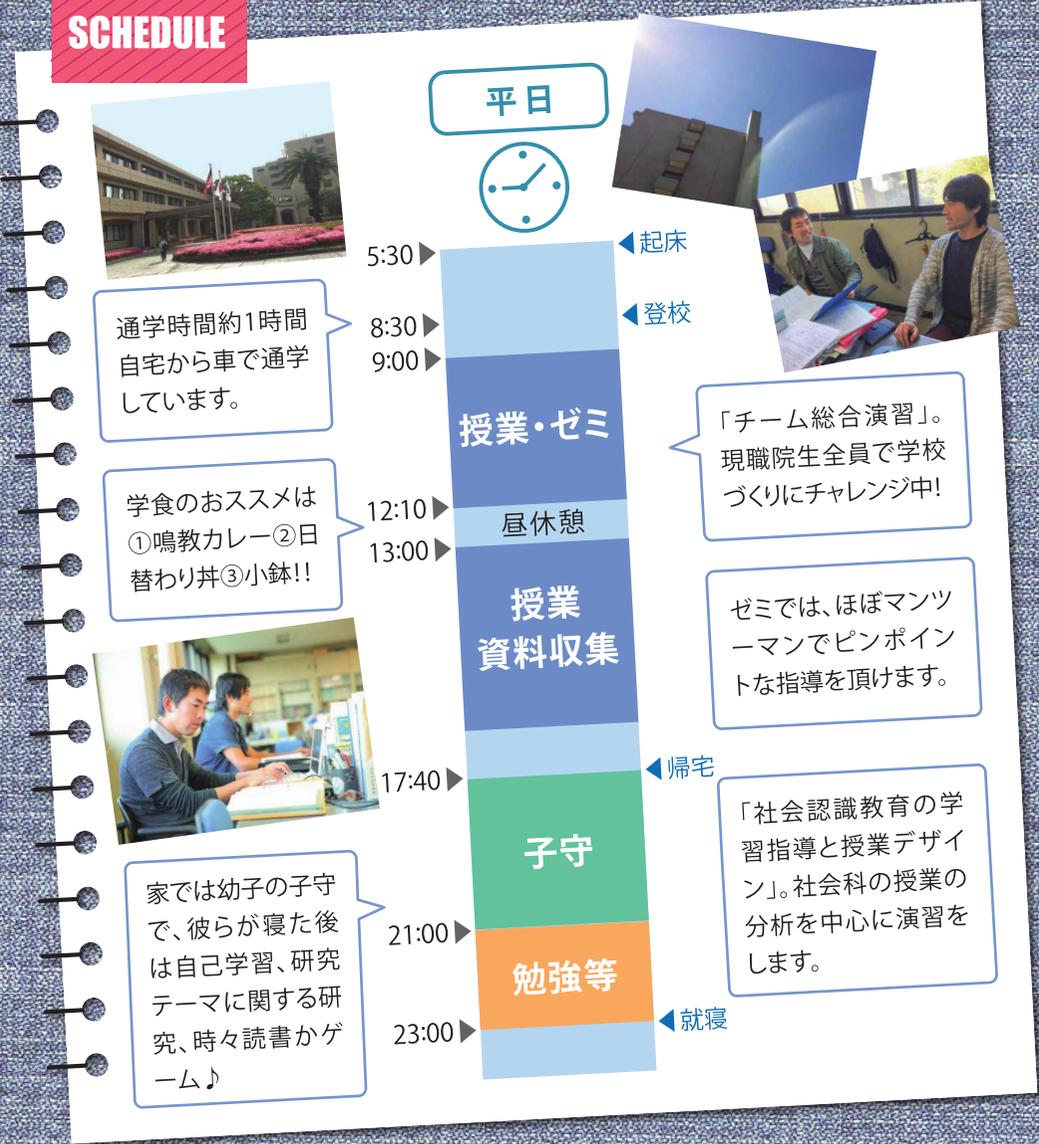
やぶした かつひこ

- 研究テーマ／1.可能な表現の中から最適なものを選ぶメカニズム
2.言語学の知見に基づいた英文法(指導)
- 趣味／水泳、自転車、ジョギング



1 DAY SCHEDULE

Campus Life 先輩の1日



一週間の簡単な予定

- 月曜 ゼミで研究を進める
- 火曜 別のゼミに参加
- 水曜 専門実習の授業を受ける
- 木曜 専門内容の演習を受ける
- 金曜 教職系の演習を受ける
- 土日 家族と出歩か、家でのんびり

《将来の夢》
退職後の夫婦
水入らずの旅行



Voice 7 光山明典

言語・社会系教科実践高度化コース
社会科教育実践分野

私は徳島県の中学校で社会科の教員をしていま
す。現場では日々生徒た
ちと関わる一方で、社会
的判断力に関する研究
も行ってました。その研
究成果を落着いて整理
したり、最新の理論な
どを取り入れたいとい
う思いがあつて、大学
院に入学しました。

本学の社会系コース
は、今年度から教職大
学院化したため、教職実
践と教科内容の両方が
学べる環境になっていま
す。院生は私のような現
職院生と学卒院生が入
り混じっています。そのた
め院生研究室では、専門
知識多彩で意欲あふれ
る学卒院生の授業づく
りに協力したり、現場経
験を活かした話を彼ら
に伝えたりもしていま
す。若い仲間と切磋琢
磨しながら「良い授業」
を追究できるこの環境

は、とても居心地がよ
く、前向きなやる気がわ
いてきます。
これからの社会では「二
十一世紀型能力」が必
要とされ、そのために「主
体的・対話的で深い学
び」が行われなければな
りません。議論などを行
いながら社会の本質につ
いて認識させ、それにつ
いて自分で考える(判断・
批判)力を育てることが、
社会科という授業の大
きなねらいです。社会系
コースの院生研究室は、
まさにそれが実践されて
いる環境と言えると申し
ます。このコースで、社会
科教員としての資質を
磨いて現場に戻ってい
きたいと思っています。



みつやま あきのり

- 研究テーマ / 中学地理における価値判断
力育成授業のあり方
- 趣味 / (当ての無い)ドライブ
讃岐うどんめぐり
徳島ラーメンめぐり
- 座右の銘 / 為せば成る
為さねば成らぬ 何事も



大学院生
議論と理解の先に
社会科の本質をさぐる

平日



学食ではお手軽に食べられるメニューがたくさんそろっています。

「おもちゃ王国プロジェクト」というサークルで、大学祭で実施したパビリオンの様子です。子どもたちがたくさん来てくれました。



8:00 ▶

◀起床

9:00 ▶

◀登校

授業・ゼミ

化学の基礎から丁寧に教えてもらっています。

12:10 ▶

昼休憩

13:00 ▶

授業

道徳教育論の授業では、いくつかのグループに分かれて討論をしたりしています。

18:00 ▶

サークル活動



21:00 ▶

勉強等

◀帰宅

23:00 ▶

◀就寝



羽坂 楓 はざか ひなた
自然・生活系教科実践高度化コース
理科教育実践分野

迷っていた教師の道を、諦めずに地元で学びたいと思い、大学院に進学しました。立派な教師目指して頑張ります！

平日



お弁当作りとお風呂
大学にいる昼・夜の2食分作ります。

7:30 ▶

◀起床

9:40 ▶

◀登校

学習支援
ボランティア

教職科目と専門分野の講義
授業の指導方法や専門分野である数学を学ぶ知識を深めています。

12:30 ▶

昼休憩

13:00 ▶

授業

鳴門中学校で勉強
平日の週4日ほど近くの鳴門中学校で机間指導や放課後、生徒に勉強を教えています。

18:00 ▶

夕食

18:30 ▶

勉強

数学
授業の課題や、学習支援ボランティアで見た授業の内容について考えたり、数学教育について同期や先輩たちと熱く語っています!!

手作り弁当
講義が終わりお腹はペコペコ。ここでエネルギーを補充し、次の勉強に備えます。

23:00 ▶

◀帰宅

24:00 ▶

◀就寝



北見 優人 きたみ ゆうと
自然・生活系教科実践高度化コース
数学科教育実践分野

《将来》数学が好きな生徒も嫌いな生徒も、授業では一緒になって楽しめるような授業づくりと、生徒目線で考え、伝えることができる教師になります!!

学会発表経験から広がる 充実した未来



自然・生活系教科実践高度化コース
技術・工業・情報科教育実践分野

Voice 8 林 佳子

私は、2020年度から実施される小学校のプログラミング教育に関しての実践研究をするために大学院の進学を決めました。

教職大学院の長期履修学生として入学しているのですが、1年目は教員免許取得に関連した授業科目の履修が中心です。学ぶ仲間は年齢を超え、様々な観点から刺激があり、とても充実した学生生活を送っています。

大学院入学後の夏休みに、日本産業技術教育学会の全国大会において発表をする機会を得ました。学会では、全国から集まって来られた沢山の研究者と話をする機会を得ることもできました。大学院へ進学後、自分の世界がどんどん広がっていることを実感しています。今後は、

同学会の四国大会や情報分科会研究発表会があり、それぞれの講演論文に取り組んでいく予定です。

ここ鳴門の地は、学ぶために最適な立地であり、特に長期履修学生は全国各地から同じ目標のもとに集まって来ている仲間がおり、きめ細やかな担任制のホームルーム指導が成されています。また、専門職学位課程では、豊かな専門性のある指導者のもと、実践研究できることが何よりの魅力です。

是非、自身の可能性を広げるために、鳴門教育大学院に来てください。



はやし よしこ

- 研究テーマ / 初等教育課程での Computational Thinking に基づいた各教科における指導観について
- 趣味 / 育てること・旅行
- 座右の銘 / 日は好日



生活に必要な 新しい知識や技術を 学び続ける



生活・健康系コース(家庭)
(現 自然・生活系教科実践高度化コース 家庭科教育実践分野)

Voice 9 福井ともこ

私が大学院に進学したいと思った理由は、高等学校の教員になる際に必要な、より専門的な知識や教育実践方法を学びたいと思ったからです。

鳴門教育大学は、教員採用試験に向けて教育に関する最新の情報を提供してくれたり、面接指導をしてくれたり個人にあわせた丁寧な支援をしてくれます。また、同じ教員を目指す友人とともに勉強をすることで、切磋琢磨しながら合格に向けて全力を尽くすことができました。

また、家庭科に関する専門的な勉強だけでなく学会での研究発表を通して、中国・四国地方の多くの観光地に足を運ぶことができ、その土地の食文化や住文化などを体感することができました。このように実際に

体験するということは、人間としての魅力を深めるひとつの方法、だと思います。鳴門は、他県とのアクセスが良いため、様々な県を観光し、充実した学生生活を送ることがができます。

家庭科は、生活に密着した教科です。変化する社会の中で、伝統文化を継承していきながら、生活に必要な新しい知識や技術を学び続けることが大切だと感じます。「家庭科教員として…」といったように生活を客観的にとらえることができるようになったのは、本学に入学し、より深く専門を学んだことが一番のきっかけだと思います。



ふくい ともこ

- 研究テーマ / 布の紫外線遮蔽に及ぼす藍染の影響とその教材化
- 趣味 / ドライブ
- 座右の銘 / 一日一善
- アルバイト / 塾の講師



苦手を抱え続けるのも専門家
百パーセントの
人間なんていない



芸術・体育系教科実践高度化コース
音楽科教育実践分野

Voice 10 山田啓明

「指揮者って、複雑なオーケストラの楽譜を一目見ただけで音楽が頭に浮かぶのでしょうか？」とよく聞かれますが、私に限ってはとんでもない。ピアノで叩いたり口ずさんだり、何度も繰り返し見てようやく、楽譜全体を頭の中で鳴らせるようになります。耳には自信がある私ですが、実は若い頃、楽譜を読むことが大の苦手でした。この年齢になって、ようやく楽譜が読めるようになったかな？という気がしています。

ある特定の楽譜を手取り早く読めるようになるには、楽譜を手元にCDなど音源を繰り返し聞く、いわゆるレコ勉が有効です。これは邪道ですが、読譜の本質を衝いています。読譜が得意な人の脳の中に「楽譜↓

音楽「変換装置があるわけではありません。音楽すなわち音高やリズム、楽器の音色やハーモニーの記憶が、楽譜の視覚情報から素早く思い出されるのが読譜です。若い頃、読譜能力はもう伸びないと思っていた私ですが、指揮の仕事を続けるうちに記憶のストックが増えてきたおかげか、少しずつ読譜能力も向上してきました。自分の専門分野だからといって、最初から百パーセントの

能力を備えている人間はいないと思います。苦手を抱え、その苦手を少しずつ克服してゆくのも専門家／研究者人生ではないでしょうか。

やまだ ひろあき

☆専門はオーケストラや合唱の指揮ですが、家内でアルト歌手の小川明子の伴奏者としても活動しています。「夫婦の営み」と称してYouTubeで演奏を多数公開しています。



鳴門教育大学大学院
それは教師としての実力を
獲得するところです



芸術・体育系教科実践高度化コース
美術科教育実践分野

Voice 11 山木朝彦

年長者として、人生を振り返るとき、みなさんに伝えたいことがあります。それは、どのような社会でも、現代は実力がある者が評価され、努力と良い環境によつて、この実力は培われるという事実です。

鳴門教育大学の魅力は、教師としての指導力を培う理想的な学習環境が整っていることに尽きるでしょう。この環境の中には、いわゆる人的資源と呼ばれる指導者サイドのパワーが含まれます。ひらたく言えば、みなさんに何をどこまで教えることができるかという教授陣の力量のことです。

いちばん身近な美術科教育実践分野の話をお願いします。わたしの同僚は、いずれもアーティストとして国内外で活躍し、そこで得たアートやデザイン・工芸の本質をみなさんにわかりやすく伝えてくれます。教職に就くことを夢見る学生達の

基礎力育成のために、その優れた知見を借しみなく授業に注いでいます。そうした気迫ある指導に刺激された大学院生は、自ずと学習・研究に勢いがつき、気づいたときには、教師としての指導力を身につけているのです。

結果は、実績が物語っています。数多くの院生が、修了後は近畿・中国地方、四国地方、東京都などの小学校・中学校・高校に勤め、獲得した専門知を活かし、教師の世界で羽ばたいています。現職院生は図画工作や美術の指導の核心を

掴み、斯界のリーダーとして新たな教育実践に取り組んでいます。鳴門教育大学大学院の魅力は、教師としての実力を身につけられるという一点に尽きると、わたしは思います。

やまき あさひこ

- 研究テーマ／美術科教育学
- 趣味／映画鑑賞 (ピギナー・レバル)



心と体を弾ませて



生活・健康系コース(保健体育)
(現 芸術・体育系教科実践高度化コース保健体育科教育実践分野)

Voice 12 中川沙弥

運動は、個体・運動課題・環境の相互作用から成り立っていますが、私は個体因子の一つである認知に着目し、剣道における認知特性について研究しています。
熟練選手は適切な注意の配分と競技に適した眼球運動を行い、豊富な知識の中から適切な情報を迅速かつ的確に検索、処理、実行しているといわれています。対人競技であり、かつ攻防を同時に行いながら一瞬で勝負が決まる剣道において熟達者はどのように対象を捉えているのか。熟達者と未熟達者では捉え方に違いがあるのか、ないのか。疑問を持ち、調査し、解明することは時間を忘れて没頭するほど面白く、楽しみながら研究に打ち込

んでいます。また保健体育科教育実践分野には様々な専門分野の先生方が在籍されており、指導教員をはじめ多くの先生方に細やかな指導をいただきながら研究を進めています。
スポーツは気持ちだけでするのではなく、また、体だけするものでもありません。心と体が一体となることでスポーツの持つ楽しさに夢中になれると思います。そしてそれは学問においても同じだと思います。心と体を弾ませて研究に夢中になれる環境がここにはあります。



なかがわ さや

- 研究テーマ/ 剣道における熟達者と未熟達者の認知特性の違い
- 趣味/ 一人旅
- 座右の銘/ 実るほど頭を垂れる稲穂かな



出会った人を大切に



子ども発達支援コース
幼児教育分野

Voice 13 榎林 衿子

鳴門教育大学は、勉強できる環境が整っていると思います。図書館には個室もあるので集中して自身の勉強や研究に励むことができている。また院生には院生研究室もあり、そこで同じコースの院生と雑談も交えながら研究の話をするということもあります。同じ道を目指している仲間がいることは、とても心強いです。
ゼミの先生もとても親身になって私の研究の指導をしてくださいます。いつも「あなたのごんなどころが良いね。」などと私の良いところを言ってくださるので、モチベーションを高めることが出来ています。もちろん研究が上手く進まないこともありませんが、それでも楽しいと思えています。ゼミの先生には本当に感謝しています。

8月には、初めて学会にも参加しました。そこで様々な方との出会いがあり、お話しをさせて頂くなかで新しい考えを知り、これまでの学びが深まることを実感しました。人との出会いを大切にしていきたいと思えます。入学してまだ1年たつていませんが、同じコースの院生やゼミの先生など多くの人との出会いがあり、大学生のときの自分より成長出来ていると感じています。2年間という短い時間はあっという間に過ぎていきます。後悔することのないように楽しみながら一生懸命頑張ろうと思えます。



ならばやし えりこ

- 研究テーマ/ 親子関係、選択理論心理学
- 趣味/ 音楽を聴くこと



院生×教員 座談会

令和元年11月のある日
 高度学校教育実践専攻長
 (教職系)の小坂教授と
 学校づくりマネジメントコース
 生徒指導コース
 学習指導力開発コースの
 院生たちが集まり
 座談会が始まりました。

～小坂教授と教職大学院の愉快的院生たち～

この3コースの院生は、教育委員会からの派遣で学校現場から
 鳴門教育大学大学院に進学した現職教員です。
現場とは、学校現場のことを示し、**置籍校**とは、現職教員として
 配属されている学校を示しています。



はじめに、大学の印象
 はどうでしたか？

名目良一徳島出身なの
 で、帰って来た〜という
 感じですか。

大石一僕は福岡出身な
 んですが、空気がゆっく

勲章やね。

弘田一自分の出身大学
 に比べてアットホーム
 に感じました。

入学して8ヶ月が
 過ぎましたが…

大石一先生方も院生
 も、あたたかいです。

名目良一学部生の時と
 違って、今は現職教員
 として大学に学びに来
 ているので、先生との
 関係が、人と人として
 向き合える関係で新鮮
 です。

小坂一院生と教員の距
 離が近いのかな。

弘田一きめ細かく指導
 してくださいませ。手
 厚いという印象です。
 自由に考える時間が十
 分にあり、今までやって
 きた教育実践を生かし
 つつ、いろいろなことが
 できる可能性を感じて
 います。

弘田一私も、やっぱり
 大学院は研究なのかな
 というイメージがすご
 くありました。でも、先
 輩や同僚が行ったのを
 見てたら、かなり実践
 を重要視して実力をワ
 ンランクアップさせて
 職場に帰って来ていた
 ので、それなら自分な
 りにやってみなかった
 ことができるのかなと
 思ってきました。

一同一入学してよかった
 です(^^)

教職大学院に対して
 どんなイメージを
 持っていましたか？

大石一私の場合、大学

院に行くと言ったら頭
 でっかちになりそうな
 印象があったんだけど、
 入学前にシラバスを見
 て、教職大学院の授業
 と修士課程の授業を見
 比べた時に、教職大学
 院の内容の方が、即現

場で生かせる、やりた

いと心が反応したので
 選びました。選んでよ
 かったです。身近に鳴
 門大学の先輩が2人い
 て助めてくれました。

ほんとは他大学と迷っ
 たのですが、本学に来
 てよかったです。



現場を離れて、もう一度学びの場に飛び込もうと思った理由は？

名目良一悩みがありました。現場での研修もあって視野を広げる機会はあるんだけど、それでは限りがあつて、あらゆることを試したけど、もつと新しいものに出会いたい、もつとほかにないのかなという刺激を求めています。



名目良一 律子さん

大石一現場にいた時は、いい授業をしたいとは思ってたんだけども、

目の前の対応に追われて教材研究に割く時間も体力もなくて悩んでいました。でももつといい授業がしたい、もう一度ちゃんと勉強したいと思つていたところ、以前から大学院に行きたいという希望を知つてた校長が勧めてくれました。

弘田一いま現場を離れるのはどうかと何人かの先輩に相談したら、絶対行った方がいいと後押ししてくれました。

学校づくりマネジメント、生徒指導、学習指導力開発という3つのコースの中から、今のコースを選択した理由は？

未来の自分に会いに行こう

名目良一変わらず答えを求めてさまよっている。(笑) 学んだことを支えにしながら、目の前の子どもたちを見て、答えを探し続けていく姿勢は持ち続けたいです。

弘田一ちょっと自信が付いたらいいなって思います。ここに来ていろんな先生方の授業を受けて、自分のやってきた実践って理論付いてたんだと思うことが割りとありました。やってきたことは間違つてなかったのかなと思えたので。

大石一ここにきていろ

弘田一私は学校づくりマネジメントコースですが、置籍校の課題を考えると何ができるか、何を研究しようかなというのがまず最初にあつて、それに合致するコースを選んで決めました。

名目良一私は生徒指導コースですが、置籍校で特別支援学級と通常学級の担任をしたりした中で子どもとすごく密に関わる時間が長くて、永遠のテーマじゃないけど、いろんな子と関わる中でどんな支援ができるかというのが常に頭の中にあつたので、学ぶならそれを学びたいなと思つて選びました。

んな手法があることを学んでいるので、選択肢を増やしていきたいです。

現職の先生向けにメッセージを

大石一大学での学びは、問題意識を持つている人とか、必要感のある人には本当に価値のある時間だと思えます。

名目良一現場でいたら目の前のことに追われて先のことっていう課題意識がないんですが、本学の3つのコースはどのコースも先のことを見通すことができるので、ぜひ視野を広げに来てほしいです。

大石一僕は学習指導力開発コースですが、アクティブラーニングとか深い学びとか言われて今は考える力を要求されるけど、実は子どもは考えることが嫌いで、考えることが苦しい。だからそうじゃなくて、考えることを楽しんで、学ぶことを楽しんで授業づくりができないかと悩んでいて、このコースを選びました。

名目良一同じ置籍校に、1年先に本学で学んだ教員がいて、入学



小坂浩嗣教授

弘田一本学での学びは、自分の経験や実践を生かして学べるのが一番大きいと思えます。さらに最新の理論を取り入れられるのが、大きなチャンスかなと思います。楽しくアクティブな毎日が続いていますので、鳴門教育大学院と一緒に学びましょう。



弘田美和さん

大石一僕も同じ。最初に自分でやることを決めて入学したのはよかったです。入ったら、他のコースの授業も受けられて、視野が広がるのでありがたいです。



大石章裕さん

自分磨きを

満喫してみませんか？



Voice 14 金児正史 学習指導力開発コース

本学は、平成31年度から教科領域と教職領域とともに教職大学院化し、修士課程と併設されました。授業名も大幅に変わり、授業名から講義内容を想像するのは難しくなりましたが、多くの授業が複数の教員の協働で成り立っていて、学習内容を横断した視点や知見が獲得できるようになっています。

新たな教職大学院になっても、教育に関する専門家の教員が、フルスベックで所属していることが本学の強みです。ゼミの学習内容はもちろんのこと、授業内容を質問するために教員を訪ねてもうれば、専門的な学問の知見に関する助言や関連する論文の紹介などによって、

応えています。そして主体的・対話的で深い学びを、本学学生に

提供しています。

学校教育にはたくさん課題があり、一朝一夕で解決できないことが多いです。それでも、本学に入学される皆さんが、本学を修了するまでに、教員との議論を通して新たな知見を獲得する手段や手順を知ることができれば、教育現場に出てからも、様々な課題の改善策を模索する幅広い視点を持つことができるでしょう。本学では教員が学生の皆さんの疑問にいつでも気軽に受け止める、共に考え議論している様子を学内各所で見かけます。

私たちは、皆様に教育のフルスベックでお迎えいたします。



かねこまさふみ

- 研究テーマ／授業研究・算数数学教育
- 趣味／木工・木象嵌



充実した院生生活



Voice 15 山下晶子 教員養成特別コース

私は、高度学校教育実践専攻教員養成特別コースに所属しており、実践を通して研究に励んでいます。

私の所属するコースは、基礎・総合インターンシップの実習を行い、授業づくり、学級経営、児童理解など実践を通して研究をしていくことが大きな特徴です。授業実践や、日々の子どもたちとかわかることは、大学の座学だけでは感じることができないたくさんの気付きや学び、そして楽しさや面白さがあります。

最初は、何も分からず、とても不安でした。しかし、大学の先生方の手厚いご指導や相談に乗ってくださるおかげで、日々勉学に励むことができます。そして、何より一緒に学ぶ仲間がいることは、とても大きな支えです。日々の実践や

講義での課題、早い人は5月ごろから教員採用試験が始まります。そのような中で、互いに助け合い、アドバイスをしたり、一緒に考え、教え合ったりしています。

また、私たちのコースは現職院生と院生研究室が一緒ということも、特徴の一つです。実際の学校現場の職員室のように過ごすことができ、学校のことはもちろん、たくさんのお話をすることができます。授業づくりのポイントや現職院生のユニークな話が聞けるなど、学校のことや研究だけにとらわれない、とても楽しい空間です。

実践が多く、時には大変なこともあります。が、教師に必要なスキルをとっても多く学ぶことができます。そして、この鳴門という環境も自然豊かで心地よくて私は大好きです。このような素晴らしい環境で学べることは、そうそうありません。ぜひ、多くの皆様とこのような素晴らしい環境で一緒に学べることを楽しみにしています。



やました あきこ

- 趣味／読書・旅行